

予防接種の種類		接種対象年齢	回数	接種間隔・注意事項
BCG		生後0か月～1歳になる1日前	1回	望ましいのは、生後5か月～8か月の間
麻しん風しん 混合(MR)	第1期	1歳～2歳になる1日前	1回	1歳の誕生日を過ぎたらなるべく早く受けましょう。
	第2期	小学校入学前の1年間 (<u>H30.4.2～H31.4.1生</u>)	1回	第2期の接種期間は、該当年度の間（令和6年4月1日～令和7年3月31日まで）です。
水痘		1歳～3歳になる1日前	2回	3か月以上の間隔で2回接種 望ましいのは、【1回目】1歳～1歳3か月になる1日前までに1回接種 【2回目】1回目接種終了後6か月～1年の間隔において1回接種
日本脳炎	1期	生後6か月～7歳6か月になる1日前	3回	【初回】6日以上の間隔で2回接種(望ましいのは、3歳～4歳の間で、6～28日の間隔) 【追加】初回接種終了後6か月以上において1回接種(望ましいのは、4歳～5歳の間で、初回接種終了後おおむね1年後)
	2期	9歳～13歳になる1日前	1回	1回接種 ※日本脳炎の特例措置対象者について、詳しくはP9をご覧ください。
二種混合(DT)		11歳～13歳になる1日前	1回	四種混合1期完了者に2期として接種します。
ヒトパピローマ ウイルス感染症 (子宮頸がん 予防:HPV)	サーバリックス (2価)	小学6年生～高校1年生 相当年齢の女子 (<u>H20.4.2～H25.4.1生まれ</u>) (望ましいのは中学1年生の時期)	3回	1か月以上の間隔において2回接種後、1回目の接種から5か月以上、かつ2回目の接種から2か月半以上の間隔において1回接種。 (望ましいのは、1か月の間隔において2回接種後、1回目の接種から6か月の間隔において1回接種。)
	ガーダシル (4価)			1か月以上の間隔において2回接種後、2回目の接種から3か月以上の間隔において1回接種。 (望ましいのは、2か月の間隔において2回接種後、1回目の接種から6か月の間隔において1回接種。)
	シルガード9 (9価)			※シルガード9(9価)は、1回目接種の年齢が小学6年生～15歳未満である場合は、1回目接種から6か月後の計2回で完了します。

重要

【令和6年度最終】子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方へ

国の方針により、平成25年6月以降の積極的な接種勧奨の差し控えより、接種機会を逃した方への予防接種の機会が確保(キャッチアップ接種)されることとなりました。対象者等は以下のとおりです。公費助成が受けられるのは、令和7年3月末までとなりますので、ご注意ください。接種完了まで最短でも約5か月の期間が必要ですので接種を希望する人は早めに接種を開始しましょう。

対象者：平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれの女性が対象。

接種期間：令和4年4月～令和7年3月

◎異なるワクチンを接種する場合の間隔

※医師が特に必要と認めた場合は、2種類以上の予防接種を同時に接種することもできます。

不活化ワクチン

ヒブ感染症 小児の肺炎球菌感染症 B型肝炎 四種混合 DT 日本脳炎
ヒトパピローマウイルス感染症 インフルエンザ* など

経口生ワクチン □タワクチン (□タリックス、□タテック)

注射生ワクチン BCG 麻しん風しん混合(MR) 水痘 おたふくかぜ* 等

いずれのワクチンも、接種間隔の制限はありません。

注射生ワクチンを接種する場合のみ、27日以上の間隔を空けてください。
(不活化ワクチン、経口生ワクチンの場合は、接種間隔の制限はありません。)

※□は、定期的予防接種、□以外は、任意の予防接種です。

※本表は、令和6年2月1日現在で作成しています。今後、内容等に変更が生じることがあります。